

飲食業界被害年200億円試算

無断キャンセル深刻

飲食店などの予約の無断キャンセルによる被害が、深刻化している。インターネットで手軽に予約できるようになったことが一因とされ、飲食業界が被る年間損害額は約2000億円と試算される。リスクにさらされる店側を支援しようと、キャンセル料の回収を弁護士が代行したり、用意していた料理を他の客に紹介したりする新サービスが登場している。



無断キャンセルされた時の日本料理店の様子。10席を確保し、箸やおしぼりを用意していた(店提供)

損害補償や料金回収代行登場

「怒りを通り越して、力が抜けた。損害はもとより、精神的に打撃を受けた」。

京都市で日本料理店を経営する40歳の男性が、無断キャンセルの被害に遭った体験をこう語る。

6月初旬、電話で当日夜に7000円コースで10人の予約が入った。開業からまだ1か月足らず。大人数の予約を想定していなかったため、急ぎ食材を買い足したり、アルバイトを手配したりして準備したが、予定の時間を過ぎても客は来店しなかった。

「縁日」(約25席)も週に数件の無断キャンセルに悩む。田中竜太店長(34)は「事前に料理の注文がない場合でも、他の客を断っているため損失がある。小規模店だけに痛い」と嘆く。

飲食業界関係者によると、近年はグルメサイトで店舗から予約まで簡単にできるため、予約とともに安易なキャンセルも増えている。

悪質な無断キャンセルの例

- 大学のサークルが居酒屋に3000円のコース料理を50人分予約しながら来店しなかった
- 接待相手の好みに合わせて店を決めようとした社員が同じ時間帯に3店に予約を入れ、2店にキャンセル連絡をしなかった
- 時間を過ぎて来店しない客の携帯電話に連絡すると「もうすぐ着く」という返答だったため席を空けて待ったが来店しなかった

※経産省のレポートから

飲食業界の団体や弁護士などでつくる経済産業省の有識者勉強会が2018年に公表したレポートによると、予約サービスを手がける企業への聞き取りから、飲食店の無断キャンセルは予約全体の1%弱を占めた。飲食業の市場規模から試算すると、損害額は年間約2000

予約全体の1%弱に

メニュー価格に転嫁の店も

メニュー価格に転嫁の店も。キャンセルを見込んでメニュー価格に転嫁していた店もあり、無断キャンセルは利用者全体の不利益にもつながると指摘している。対策として、飲食店には、予約の再確認の徹底や、事前決済や預かり金(デポジット)の導入などを提案している。

警察無線の音声投稿

動画サイトに 元警官から流出

容疑の2人書類送検

警察無線の音声を投稿した動画投稿者。中、無断で傍受して知人も容疑を認めている。音声は約34分間で、2009年8月に東京都中野区

その後の捜査で、山梨県警の元警官が、県警の受信機を無断で持ち出し、都内を訪れて無線を傍受、録音していたことが判明。元警官は音声と県警の備品を計数万円程度で知人に売却し、知人は浜松市の男ら警察マニア4人に音声を取売していた。



車3台衝突 2人死亡

神戸、2人軽傷 トレーラー 民家突入

23日午前6時20分頃、神戸市須磨区須磨浦通の国道2号で、東へ向かっていた軽乗用車が中央線を越え、対向の乗用車と後続の大型トレーラーに衝突した。弾みで大型トレーラーが道路沿いの民家に突っ込み、車庫部分が破損した。軽乗用車に乗っていた30歳の男性2人が死亡し、乗用車の男性(60)とトレーラーの運転手(70)が軽傷。民家の住人にけがはなかった。兵庫県須磨署によると、現場は、片側2車線の直線。トレーラーが道路をふさぐようになり、一時、全面通行止めとなった。トレーラーは、同県姫路市に荷物を取りに行く途中だった。事故の影響で数キの渋滞が発生した。民家の会社員男性(68)は「ドーンという大きな音がした。地震のような揺れを感じた。外に出てみると、車庫にトレーラーが突っ込み、物が散乱していた。家族が巻き込まれていたかと思うと恐ろしいと話した。現場は、JR須磨駅から



大山の秋を堪能! しろがね名物 深山鍋ふるまひ

期間 8/31(土) ~ 11月末

深山鍋とは 地元産のブランド鶏「大山どり」と季節の山菜たっぷりの当館自慢の鍋料理です。

料金 2名様以上1室大人 10,000円

バス・トイレ付 +1,000円 ※平日/1泊2食付 (各1名・税込)

バス・トイレ無 -1,000円

グループルーム -2,000円

〒665-0201 兵庫県西伯郡大山町大山136-2

☎0859-52-2211

ホテル大山 しろがね

戦は...戦でござる!!

人生は、本当の自分を見失った男が感動に満ちた...

幸せになんなきやダ

あなた生きてるんだ

恋合

第二次大戦直後のイギリス、取材である島の読書会を訪れた作家のジュリエット。しかし、創設者は姿を消し、メンバーたちは何かを隠していた。

人生は、本当の自分を見失った男が感動に満ちた...